

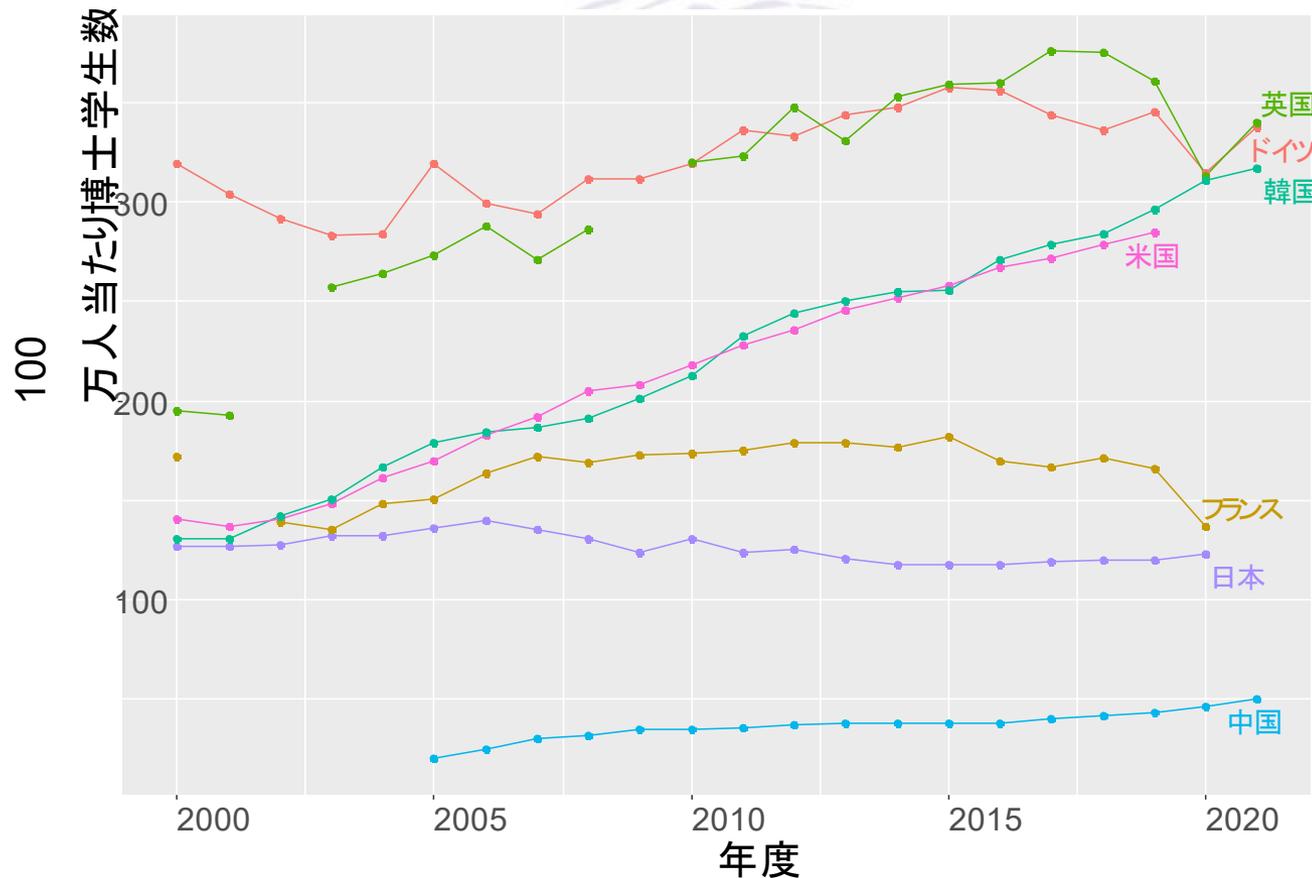
令和5年度 博士後期課程進学説明会

令和5年9月16日
東北大学・工学研究科長
伊藤 彰則
(通信工学専攻・教授)

日本での博士号取得者数の減少

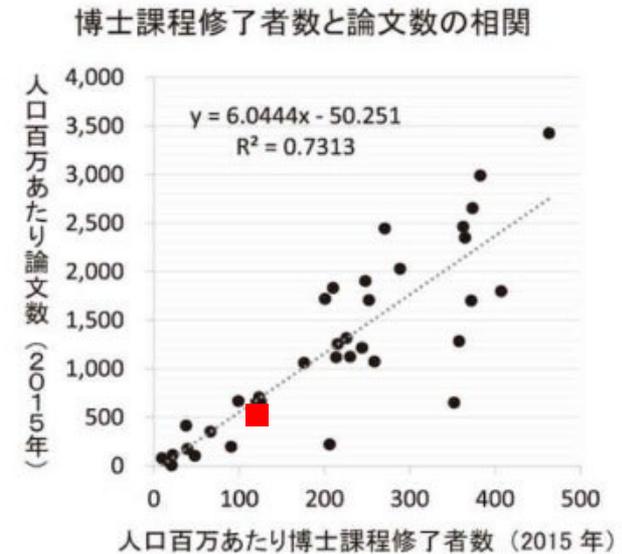
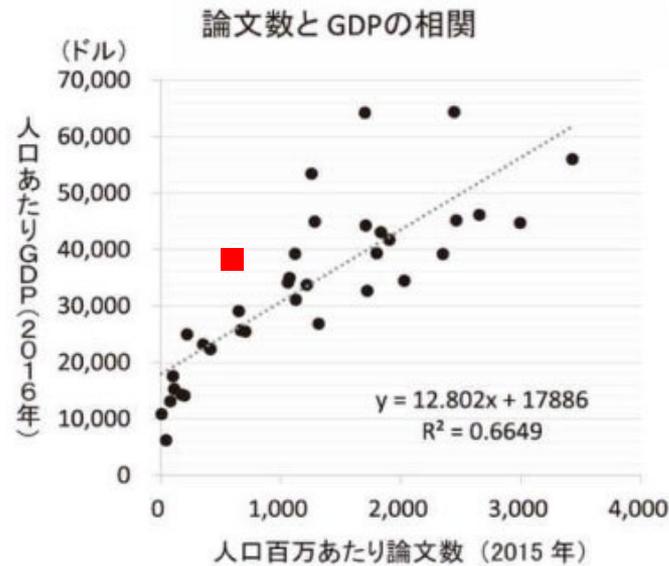
日本の博士課程学生数は20年間伸び悩んできた

- 企業の待遇の問題
- 学生の経済状況の問題



データはNISTEP 科学技術指標2023より

博士が創る、日本の未来！



OECD加盟35ヶ国の
論文数とGDPの関係



国際卓越研究大学に向けて

2023年9月1日、東北大学は「国際卓越研究大学」候補第1号に選定

我が国においても、大学の機能拡張を推進する中で、大学が国際的な切磋琢磨を通じて研究力を向上させるといふ緊張感を持ち、**世界トップクラスの研究者の獲得**はもとより、**次代を担う自立した若手研究者を育成**し、活躍できるようにするための大胆な資源配分、**研究時間を十分に確保するための研究者の負担軽減**、大学の有する**知的資源の価値化**等に取り組んでいくことが求められています。
(文科省HPより)

歴史と理念「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」

1907年 東北帝国大学の創立
三番目の帝国大学



研究と教育は車の両輪

「仙台は学術研究に最適な都市」
アインシュタイン, 1922



多様性を力に

日本初の女子大学生の誕生
「女子の帝大入学は重大事件」
文部省, 1913 (110年前)



専門学校・師範学校・留学生へ開放



社会価値を創造

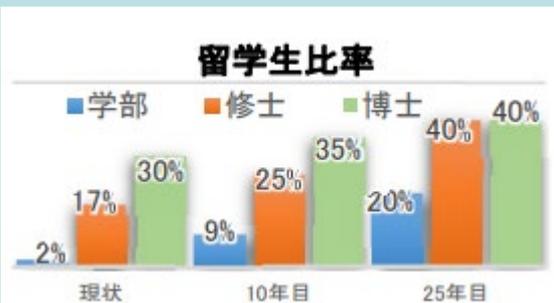
第6代総長 本多光太郎
「産業は学問の道場なり」



東日本大震災からの復興へ
貢献、大学の社会的使命を
構成員が強く自覚, 2011~

民間および自治体等からの
寄附を受けて創設・発展

教育の国際化



博士学生への経済支援

博士課程学生への平均経済支援額



- ✓ 「若手研究者」として大学・研究機関で活躍
- ✓ 企業研究者・開発者として活躍
- ✓ スタートアップ

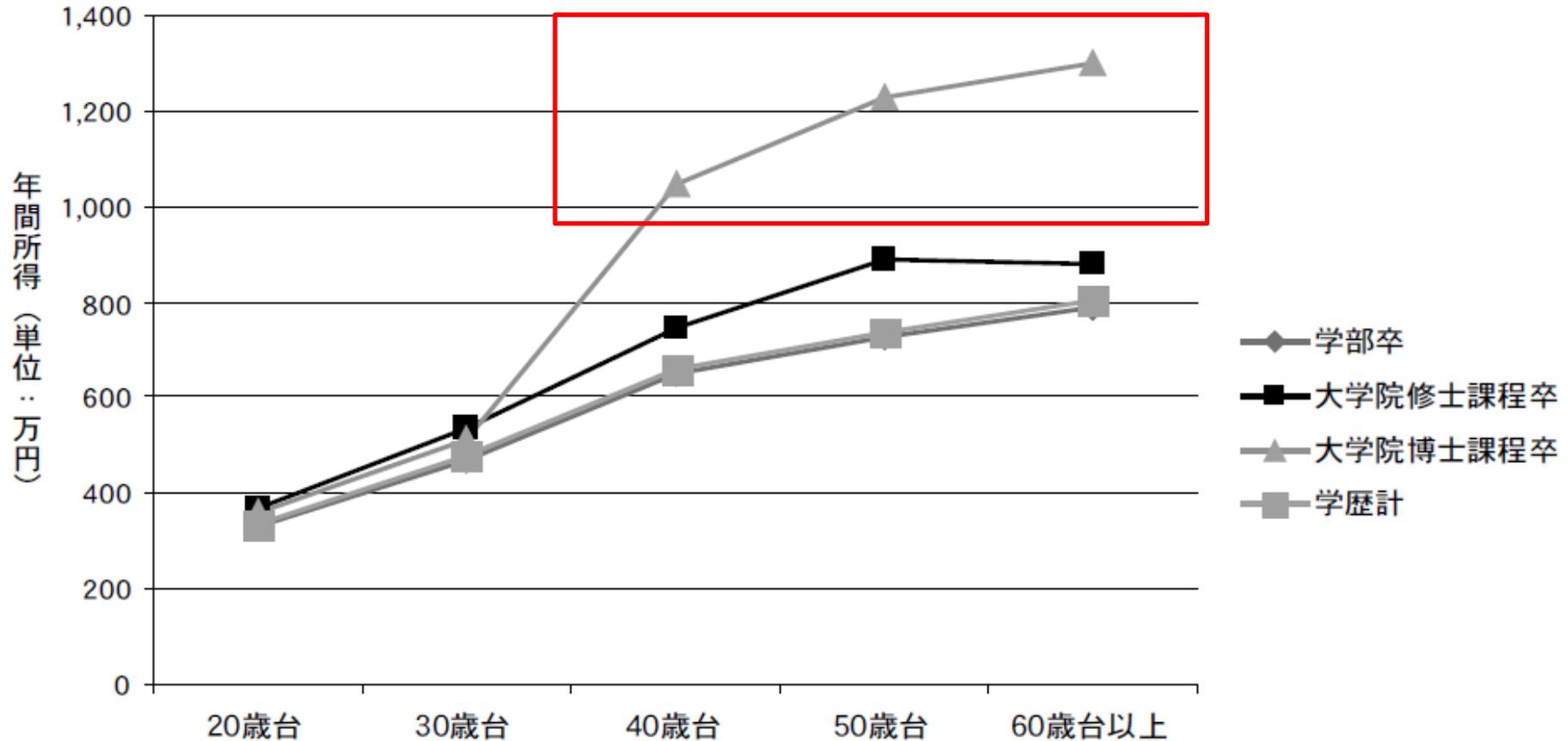
「高等大学院」による学際的な教育

東北大学独自の教育ガバナンスを確立する「高等大学院」を設置

- 全大学院の定員、学生配置、学位授与等を一元管理
- 学術・社会ニーズ等に機動的に対応する横断型学位プログラムの全面展開（17→50プログラムへ拡大、学生参画率100%）
- 海外大学等との連携により国際経験を必須化（8→100%）

学歴別年齢-所得プロフィール

博士の年俸は学部や修士より高い



• 博士号は

- 企業においても一人前の研究者の免許証
- 世界で活躍するためには必須のアイテム

• 博士号を持つ人は

- 自分で考え、自発的に行動する
- 自分の人生を他人任せにせず、自分で決断する
- 職位は概ね10年毎に変わり、職責も優れたリーダーとしての要求度が上がる